

【様式-1】
CPD記録表

(20XX 年 〇 月 ~ 20XX 年 〇 月) 所属会社等: 〇〇コンサルタント株式会社 氏名: 〇〇 〇〇

No.	開始年月日 終了年月日	時	分	CPD 分野 (記号)	CPD 形態 (記号)	プログラム名称	主催者等	プログラム番号	CPDの内容	実 時間 (1)	重み 係数 (2)	CPD単位 (1)×(2)	CPD 単位 累計
20XX-01	20XX 〇 〇〇	9	25	B	1	第50回下水道職員養成講習会	(公社) 日本下水道協会	AWS CJ 〇〇-〇	講習会への参加	6.5	1	6.5	6.5
	20XX 〇 〇〇	17	15										
20XX-02	20XX 〇 〇〇	14	00	A	2	建設技術者の継続教育を考えるシンポジウム20XX	建設系CPD協議会		シンポジウムへの参加	3	1.5	4.5	11
	20XX 〇 〇〇	17	20										
20XX-03	20XX 〇 〇〇	9	00	B	3	〇〇支部施設見学会	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会〇〇支部	AWS CJ 〇〇-〇	現場見学会への参加	4	1	4.0	15
	20XX 〇 〇〇	16	00										
20XX-04	20XX 〇 〇〇	10	00	B	4	平成24年度土木学会全国大会第67回年次学術講演会での発表	(公社) 土木学会		口頭発表 (建設系CPD協議会構成学協会主催)	15	0.4	6.0	21
	20XX 〇 〇〇	10	15										
20XX-05	20XX 〇 〇〇			B	5	平成〇〇年度土木学会論文集への論文発表	(公社) 土木学会		論文発表 (学術雑誌等への査読付き論文発表)			40.0	61
	20XX 〇 〇〇												
20XX-06	20XX 〇 〇〇			B	6	平成〇〇年度技術報告集 (第〇〇号) への論文発表	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会		論文発表 (一般論文、総説等)			10.0	71
	20XX 〇 〇〇												
20XX-07	20XX 〇 〇〇			B	7	「下水道雨水管理計画策定マニュアル」編集	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会		技術図書等 (基準類含む) の執筆	10.0	1	10.0	81
	20XX 〇 〇〇												
20XX-08	20XX 〇 〇〇	15	00	B	8	平成〇〇年度第〇回社内技術研修会	(株) 〇〇コンサルタント		企業内研修	3.0	1	3.0	84
	20XX 〇 〇〇	18	15										
20XX-09	20XX 〇 〇〇			B	9	合理的な水道事業の運営に関する〇〇共同研究	〇〇大学 (〇〇〇〇教授)		〇〇都市圏における水代謝システムに関する共同研究及び調査	30.0	1	30.0	114
	20XX 〇 〇〇												
20XX-10	20XX 〇 〇〇	15	20	B	10	平成〇〇年度第〇回水道技術講習会	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会〇〇支部		講習会の講師	1.5	3	4.5	118.5
	20XX 〇 〇〇	16	50										
20XX-11	20XX 〇 〇〇			B	11	平成〇〇年度 社内技術研修会	(株) 〇〇〇〇		社内研修会の講師	2.0	2	4.0	122.5
	20XX 〇 〇〇												
20XX-12	20XX 〇 〇〇			B	12	水道協会雑誌への論文集投稿論文の査読	(公社) 日本水道協会		論文等の査読 (日本水道協会からの依頼)			20.0	142.5
	20XX 〇 〇〇												
20XX-13	20XX 〇 〇〇			B	13	平成〇〇年度 〇〇市〇〇水処理センター実施設計業務委託	日本下水道事業団 東日本本部		学協会や発注者の表彰を受けた業務			20.0	162.5
	20XX 〇 〇〇												

【様式-1】
CPD記録表

(20XX 年 〇 月 ~ 20XX 年 〇 月) 所属会社等: 〇〇コンサルタント株式会社 氏名: 〇〇 〇〇

No.	開始年月日 終了年月日	時	分	CPD 分野 (記号)	CPD 形態 (記号)	プログラム名称	主催者等	プログラム番号	CPDの内容	実 時間 (1)	重み 係数 (2)	CPD単位 (1)×(2)	CPD 単位 累計
20XX-14	20XX 〇 〇〇			B	14	公共下水道管きょ設計業務	〇〇コンサルタント(株)		所属長が優れた成果と認めたもの			10.0	172.5
	20XX 〇 〇〇												
20XX-15	20XX 〇 〇〇			B	15	地下貯留槽およびその洗浄方法	特許庁		特許取得			40.0	212.5
	20XX 〇 〇〇												
20XX-16	20XX 〇 〇〇	15	30	B	16	平成〇〇年度 第4回関東支部技術委員会への出席	(一社)全国上下水道コンサルタント協会		委員長として技術委員会へ出席	1.5	2	3.0	215.5
	20XX 〇 〇〇	17	00										
20XX-17	20XX 〇 〇〇	13	30	B	17	平成〇〇年度 第2回CPD部会への出席	(一社)全国上下水道コンサルタント協会		技術委員会等への出席(委員・幹事の立場)	3.5	1	3.5	219
	20XX 〇 〇〇	17	00										
20XX-18	20XX 〇 〇〇	14	00	B	18	下水道協会誌20XXの購読	なし		自己学習(学会誌購読等)	2.5	0.5	1.2	220.2
	20XX 〇 〇〇	16	30										
20XX-19	20XX 〇 〇〇			B	19	技術士(上下水道部門)	(公社)日本技術士会		技術資格の取得			20.0	240.2
	20XX 〇 〇〇												
20XX-20	20XX 〇 〇〇			B	20	〇〇地震災害調査への参加	(公社)土木学会		災害調査、研究調査等への参加	22.5		20.0	260.2
	20XX 〇 〇〇												
20XX-21	20XX 〇 〇〇	9	30	D	21	ISO/PC251 アセットマネジメント第〇回ブラハ会議	ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)		国際機関への技術協力(委員の立場)	13.0		10.0	270.2
	20XX 〇 〇〇	17	00										
20XX-22	20XX 〇 〇〇	11	00	C	22	第〇〇回「耶馬の森」植樹の集い	「耶馬の森林」育成協議会(構成団体:国土交通省・北九州市他)		地域活動への参加	2.0	1	2.0	272.2
	20XX 〇 〇〇	13	00										
20XX-23	20XX 〇 〇〇	10	00	C	22	身近な水環境の全国一斉調査	(財)河川環境財団	AWSJ 〇〇-〇〇	地域活動への参加	2.0	1	2.0	274.2
	20XX 〇 〇〇	12	00										
20XX-24												0	0

CPD分野別単位数

教育分野	当該頁	累計
A 基礎共通分野	4.5	4.5
B 専門技術分野	255.7	260.2
C 周辺技術分野	4.0	264.2
D 総合管理分野	10.0	274.2
合計	274.2	

CPD形態別単位数

教育形態	当該頁	累計
i 講習会、研修会等	15.0	15.0
ii 論文等の発表	66.0	81.0
iii 企業内研修	33.0	114.0
iv 技術指導	28.5	142.5
v 業務経験	70.0	212.5
vi その他	61.7	274.2
合計	274.2	

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-01
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	第50回下水道職員養成講習会
主催者等(団体)	(公社) 日本下水道協会
認定団体	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定プログラム番号	AWSCJ 〇〇-〇
CPD内容	講習会への参加
CPD分野	B
CPD番号	1
実時間	6.5 (時間)
CPD単位	6.5 (ポイント)
プログラム内容	<p><講習会内容></p> <p>9:25~9:30 主催者挨拶</p> <p>9:30~10:30 「これからの下水道」 〇〇市 △△□□氏 (60分)</p> <p>10:30~12:00 「管路の設計・施工」 〇〇研 △△□□氏 (90分)</p> <p>12:00~13:00 休憩</p> <p>13:00~14:00 「排水設備」 □□社 〇〇△△氏 (60分)</p> <p>14:00~15:00 「事業所排水の排水指導」 △△団 □□〇〇氏 (60分)</p> <p>15:00~15:15 休憩</p> <p>15:15~16:15 「処理場・ポンプ場の概要」 〇〇研 △△□□氏 (60分)</p> <p>16:15~17:15 「下水道の資源エネルギー」 〇〇研 △△□□氏 (60分)</p> <p>実時間=60分×5+90分=390分=6.5時間</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講証明書もしくは修了証書 ・ 講習会、研修会の式次第もしくは案内

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.1

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-02
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	建設技術者の継続教育を考えるシンポジウム20XX
主催者等(団体)	建設系CPD協議会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	シンポジウムへの参加
CPD分野	A
CPD番号	2
実時間	3.0(時間)
CPD単位	4.5(ポイント)
プログラム内容	<p><シンポジウム内容> 14:00~14:05 主催者挨拶 △△学会 □□〇〇氏 14:05~14:20 「継続教育の現状と課題」 〇〇会 △△□□氏(15分) 14:20~14:50 「制度活用の現状と課題」 〇〇省 △△□□氏(30分) 14:50~15:05 「CPD制度比較」 〇〇協議会 △△□□氏(15分) 15:05~15:20 休憩 15:20~17:20 「パネルディスカッション」(120分) △△□□氏、××△△氏他4名(次第参照)</p> <p>実時間=15分+30分+15分+120分=180分=3.0時間</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・ 講演会、シンポジウムの式次第もしくは案内

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.2

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-03
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	〇〇支部施設見学会
主催者等(団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会〇〇支部
認定団体	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定プログラム番号	AWSCJ 〇〇-〇
CPD内容	現場見学会への参加
CPD分野	B
CPD番号	3
実時間	4.0(時間)
CPD単位	4.0(ポイント)
プログラム内容	<p><見学会内容> 9:00~10:00 〇△駅集合後出発 10:00~12:00 「△□処理場の説明と現場見学」 〇〇市(120分) 12:00~14:00 昼食休憩後出発 14:00~16:00 「△□×浄水場の説明と現場見学」 △〇市(120分)</p> <p>実時間=120分+120分=240分=4.0時間</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・ 現場見学会の式次第もしくは案内

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.3

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-04
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成24年度土木学会全国大会第6 7回年次学術講演会での発表
主催者等(団体)	(公社)土木学会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	口頭発表(建設系CPD協議会構成学協会主催)
CPD分野	B
CPD番号	4
実時間	15.0(時間)
CPD単位	6.0(ポイント)
プログラム内容	<見学会内容> 発表論文 「湖沼・ダム貯水池3次元水質シミュレーションシステムについて」 掲載雑誌 「年次学術講演会 CD-ROM」 発表時間 10:00~10:15(15分) 実時間=15分 CPD単位=15分×0.4=6.0時間
必要なエビデンス	・ 受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・ 発表会のプログラムもしくは案内

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.4

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-05
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度土木学会論文集への論文発表
主催者等(団体)	(公社)土木学会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	論文発表(学術雑誌等への査読付き論文発表)
CPD分野	B
CPD番号	5
実時間	
CPD単位	40.0(ポイント)
プログラム内容	<論文内容> 発表論文 「M湾に発生する想定外高潮とその発生機構」 掲載論文集 「土木学会論文集(海洋工学)2013版」 CPD単位=1編×40=40単位
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 査読論文の位置付けが分かるもの ・ 編集者氏名が分かる部分のページまたは、目次

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.5

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-06
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度技術報告集 (第〇〇号) への論文発表
主催者等 (団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	論文発表 (一般論文、総説等)
CPD分野	B
CPD番号	6
実時間	
CPD単位	10.0 (ポイント)
プログラム内容	<論文内容> 発表論文 「合流改善モニタリング調査の一考察」 掲載論文集 「平成25年度技術報告集 (第28号)」 CPD単位 = 1編 × 10 = 10単位
必要なエビデンス	・ 編集者氏名が分かる部分のページまたは、目次

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.6

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-07
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	「下水道雨水管理計画策定マニュアル」編集
主催者等(団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	技術図書等(基準類含む)の執筆
CPD分野	B
CPD番号	7
実時間	10.0(時間)
CPD単位	10.0(ポイント)
プログラム内容	<論文内容> 「下水道雨水管理計画策定マニュアル」編集 第1・2章編集担当 CPD単位=10ページ×1=10単位
必要なエビデンス	・編集図書の一部(図書表紙・目次・当該ページ1ページ分) ・編集者氏名が分かる部分のページ

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.7

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-08
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度第〇回社内技術研修会
主催者等(団体)	(株) 〇〇コンサルタント
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	企業内研修
CPD分野	B
CPD番号	8
実時間	3.0(時間)
CPD単位	3.0(ポイント)
プログラム内容	<p><研修会内容> 15:00~16:30 「下水道施設の長寿命化計画」 技術一部 □□〇〇氏(90分) 16:30~16:45 休憩 16:45~18:15 「長寿命化計画策定事例の紹介」 施設部 △△□□氏(90分)</p> <p>実時間 = 90分 × 2 = 180分 = 3時間</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修会案内または次第(メール、掲示板など) ・研修会出席者名簿または、参加証明書

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.8

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-09
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	合理的な水道事業の運営に関する〇〇共同研究
主催者等(団体)	〇〇大学(〇〇〇〇教授)
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	〇〇都市圏における水代謝システムに関する共同研究及び調査
CPD分野	B
CPD番号	9
実時間	30.0(時間)
CPD単位	30.0(ポイント)
プログラム内容	<p><共同研究内容> 〇〇市における浄水処理に関わる課題や、先進的な技術についての研究成果に基づき、〇〇大学と弊社との連携により、将来に向けての水質管理方式や、〇〇都市圏を対象とした環境や省エネルギーに配慮した効率的な水資源利用を図るための方策の研究及び調査を行うものである。 近年、水道利用者の安全でおいしい水を求める意識は高まりを見せており、新たな微量汚染物質への対応など、先端の知見を必要とする事項も増えつつある。また、今後の民営化や国際化の流れの中で、効率的な事業経営が求められており、合理的な施設の運営、維持管理に直接結びつく新たな技術開発を行うことを目標とする。 なお、本共同研究の成果は、「平成〇年度全国水道技術研究発表会」にて今後発表する予定。</p> <p>研究参加期間 10日間(従事期間) 研究参加時間 13:15~16:30(実時間=3.0時間/日) 実時間=3.0時間/日×10日=30.0時間(参加時間)</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発等に従事したCPD活動を証明する所属長の認定書 研究開発内容がわかる概要等資料の写しもしくは主催者の案内(依頼書)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.9

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-10
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度第〇回水道技術講習会
主催者等(団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会〇〇支部
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	講習会の講師
CPD分野	B
CPD番号	10
実時間	1.5(時間)
CPD単位	4.5(ポイント)
プログラム内容	<p><講習会内容> 15:20~16:50 「浄水処理システムの設計と話題」 講師; 榎□□□ 〇〇△△</p> <p>若手、中堅技術者の技術力の向上を目的として、15:20~16:50「浄水処理システムの設計と話題」(90分)についての講義を行う。</p> <p>受講者: 50名</p> <p>実時間=90分=1.5時間(講義時間)</p>
必要なエビデンス	・講習会のプログラムもしくは発表者(講師)がわかる案内状

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.10

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-11
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度 社内技術研修会
主催者等(団体)	(株) 〇〇〇〇
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	社内研修会の講師
CPD分野	B
CPD番号	11
実時間	2.0(時間)
CPD単位	4.0(ポイント)
プログラム内容	<p><研修会内容> 〇〇〇実施設計業務を通じて検討し、採用した〇〇工法についての設計概要、技術的特徴、構造解析、積算方法、適用例等をパワーポイント説明資料により解説する。</p> <p>本社内研修は、平成25年度社内技術研修教育計画に基づき、若手、中堅技術者の技術の習得並びに業務成果品の品質向上を目的として、本社設計一部(開催時間;10:00~11:00)、設計二部(開催時間;13:30~14:30)向けに、講義を行うものである。参加者:20名</p> <p>実時間=60分+60分=120分=2.0時間(講義時間)</p>
必要なエビデンス	・社内研修会のプログラムもしくは発表者(講師)がわかる案内状

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.11

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-12
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	水道協会雑誌への論文集投稿論文の査読
主催者等(団体)	(公社) 日本水道協会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	論文等の査読(日本水道協会からの依頼)
CPD分野	B
CPD番号	12
実時間	
CPD単位	20.0(ポイント)
プログラム内容	<p>日本水道協会より依頼のあった投稿論文を査読し、協会に貢献する。</p> <p><査読論文名> 「災害対策等の充実による安定的な水の供給について」</p> <p><内容> 査読レポートとしては、①危機管理技術、②小規模水道や末端施設等の施設・設備の整備・管理、③資機材の安全性、④データベースの構築に関する研究への論文であり、特に今後の大規模地震被害の影響による上下水道施設への危機管理のあり方の講評・課題点等を述べ、報告している。</p> <p>CPD単位=1編×20/編=20</p>
必要なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> 論文査読に従事したCPD活動を証明する所属長の認定書 査読した論文目次等資料の写しもしくは主催者の案内(依頼書)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.12

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-13
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度 〇〇市〇〇水処理センター実施設計業務委託
主催者等(団体)	日本下水道事業団 日本本部
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	学協会や発注者の表彰を受けた業務
CPD分野	B
CPD番号	13
実時間	
CPD単位	20.0 (ポイント)
プログラム内容	<表彰名>平成25年度優良な設計技術者の本部長表彰 <表彰日>平成25年〇月〇日 <表彰事由>品質を向上させるための創意工夫や高い技術力等がみられたため、優良な設計技術者と評価された。 <担当箇所>管理技術者の立場から、担当技術者に技術的指導、提案、助言を行い業務の円滑化に努めた。
必要なエビデンス	・表彰状、感謝状等受賞を証明する資料(写し)または、報道発表資料

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.13

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1) CPD記録確認内容

所属会社等: ○○コンサルタント株式会社 氏名: ○○ ○○

整理番号	20XX-14
年月日	20XX年 ○月 ○○日 ~ 20XX年 ○月 ○○日
プログラム名称	公共下水道管きょ設計業務
主催者等 (団体)	○○コンサルタント (株)
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	所属長が優れた成果と認めたもの
CPD分野	B
CPD番号	14
実時間	
CPD単位	10.0 (ポイント)
プログラム内容	<表彰名>平成25年度優良な設計技術者の本部長表彰 <表彰日>平成25年○月○日 <表彰事由>品質を向上させるための創意工夫や高い技術力等がみられたため、優良な設計技術者と評価された。 <担当箇所>管理技術者の立場から、担当技術者に技術的指導、提案、助言を行い業務の円滑化に努めた。
必要なエビデンス	・ 会社の表彰規定に則ることを証するもの (表彰状のコピー等)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.14

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1) CPD記録確認内容

所属会社等: ○○コンサルタント株式会社 氏名: ○○ ○○

整理番号	20XX-15
年月日	20XX年 ○月 ○○日 ~ 20XX年 ○月 ○○日
プログラム名称	地下貯留槽およびその洗浄方法
主催者等(団体)	特許庁
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	特許取得
CPD分野	B
CPD番号	15
実時間	
CPD単位	40.0 (ポイント)
プログラム内容	<表彰名>平成25年度優良な設計技術者の本部長表彰 <表彰日>平成25年○月○日 <表彰事由>品質を向上させるための創意工夫や高い技術力等がみられたため、優良な設計技術者と評価された。 <担当箇所>管理技術者の立場から、担当技術者に技術的指導、提案、助言を行い業務の円滑化に努めた。
必要なエビデンス	・特許証写し

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.15

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-16
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度 第4回関東支部技術委員会への出席
主催者等(団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	委員長として技術委員会へ出席
CPD分野	B
CPD番号	16
実時間	1.5 (時間)
CPD単位	3.0 (ポイント)
プログラム内容	<表彰名>平成25年度優良な設計技術者の本部長表彰 <表彰日>平成25年〇月〇日 <表彰事由>品質を向上させるための創意工夫や高い技術力等がみられたため、優良な設計技術者と評価された。 <担当箇所>管理技術者の立場から、担当技術者に技術的指導、提案、助言を行い業務の円滑化に努めた。
必要なエビデンス	・委員会等の式次第, 出席者名簿, 議事録等(時間・出席者・議事内容が確認できる資料)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.16

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-17
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	平成〇〇年度 第2回CPD部会への出席
主催者等(団体)	(一社) 全国上下水道コンサルタント協会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	技術委員会等への出席(委員・幹事の立場)
CPD分野	B
CPD番号	17
実時間	3.5(時間)
CPD単位	3.5(ポイント)
プログラム内容	<議題> 13:30~14:00 前回議事録の確認(30分) 14:00~15:00 CPD制度と活用に関するアンケート結果(60分) 15:00~16:00 CPD制度の改善について(60分) 16:00~17:00 CPD協議会専門部会情報伝達(60分) 実時間=30分+60分×3=210分=3.5時間
必要なエビデンス	・委員会等の式次第, 出席者名簿, 議事録等(時間・出席者・議事内容が確認できる資料)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.17

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-18
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	下水道協会誌20XXの購読
主催者等(団体)	なし
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	自己学習(学会誌購読等)
CPD分野	B
CPD番号	18
実時間	2.5(時間)
CPD単位	1.2(ポイント)
プログラム内容	<p><雑誌名>下水道協会誌 2012/Vol.49 No.594(4月号)P.45~52</p> <p><学習内容、自身の感想> 特集「下水再生水の利用」 14:00~16:30(150分) 【下水道再生水の利用の動向について】 現在の下水再生水の利用状況は2009年度で利用率が約1.4%=約1.2億トンにとどまっており、その主な利用形態は、大都市では水洗用水、大型ビルの散水や車両・道路散水用として、中規模都市では親水や融雪用水としての利用にとどまっている。 今後は膜分離法等の高度化に併せて、より高次な処理水質を求める基準作りと技術開発が望まれることを認識した。</p> <p>実時間=150分=2.5時間</p>
必要なエビデンス	・文献や雑誌の目次

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.18

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-19
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	技術士（上下水道部門）
主催者等（団体）	（公社）日本技術士会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	技術資格の取得
CPD分野	B
CPD番号	19
実時間	
CPD単位	20.0（ポイント）
プログラム内容	<登録番号> 第661**号 <取得年月日>平成24年3月19日 <技術部門> 上下水道部門
必要なエビデンス	・登録証（合格証、認定証）の写しなど合格が確認できる資料

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.19

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1) CPD記録確認内容

所属会社等: ○○コンサルタント株式会社 氏名: ○○ ○○

整理番号	20XX-20
年月日	20XX年 ○月 ○○日 ~ 20XX年 ○月 ○○日
プログラム名称	○○地震災害調査への参加
主催者等(団体)	(公社) 土木学会
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	災害調査、研究調査等への参加
CPD分野	B
CPD番号	20
実時間	22.5 (時間)
CPD単位	20.0 (ポイント)
プログラム内容	<調査目的> 現場の下水処理場の被害調査を行い、被害状況の特徴や原因をまとめ、今後の防災対策の資料とする。 <調査内容> 目視調査 <調査場所> ○○県○○市○○処理場内 <調査結果> RCの水槽構造物の被害はなかったが、構造物周辺の地盤が沈下していた。 <実施日、時間> 7/19 : 7.5時間、7/20 : 7.5時間、7/21 : 7.5時間 実時間 = 7.5時間 × 3 = 22.5時間
必要なエビデンス	・ 調査計画書 (調査内容、調査予定表、参加人数、参加者名等)

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.20

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-21
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	ISO/PC251 アセットマネジメント第〇回プラハ会議
主催者等(団体)	ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構)
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	国際機関への技術協力(委員の立場)
CPD分野	D
CPD番号	21
実時間	13.0(時間)
CPD単位	10.0(ポイント)
プログラム内容	<p>ISO/PC251 (AMSの企画開発のためのプロジェクト委員会) 分野:アセットマネジメント 規格の例:ISO55000(概要、原則、用語) ISO55001(要求事項) ISO55002(適用のためのガイドライン) 1. ISO55000について: 6月11日9:30~12:00、13:00~17:00(6.5時間) 1) 前回会議からの予備案の事前回付 2) CD2に関する対応協議(AMとAMSの関係)</p> <p>2. ISO55001及びISO55002について: 6月12日9:30~12:00、13:00~17:00(6.5時間) 1) アセットマネジメントの原則 2) アセットマネジメントシステムの要素 3) 財務マネジメント問題について 4) 適合性審査について</p>
必要なエビデンス	<p>・会議議事録、参加を証明できる資料(会議資料(内容目次)等)、国際機関からの要請状または委員名簿</p>

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.21

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-22
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	第〇〇回「耶馬の森」植樹の集い
主催者等(団体)	「耶馬の森林」育成協議会(構成団体:国土交通省・北九州市他)
認定団体	その他
認定プログラム番号	
CPD内容	地域活動への参加
CPD分野	C
CPD番号	22
実時間	2.0(時間)
CPD単位	2.0(ポイント)
プログラム内容	<p>「水」との共生を図りながら一体となって「命を育む」水源の「耶馬の森林」を守り、豊潤な「水」を下流域の皆さんへ安定的・継続的に供給するために、耶馬溪ダム湖畔において「耶馬の森林」植樹の集いを開催。</p> <p>1、事業概要説明/<説明>「耶馬の森林」育成協議会: 11:00~12:00(1.0時間)</p> <p>2、植樹/<講師>国土交通省九州地方整備局: 12:00~13:00(1.0時間)</p>
必要なエビデンス	・案内書、参加申込書、参加者名簿および現場の状況写真

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.22

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-23
年月日	20XX年 〇月 〇〇日 ~ 20XX年 〇月 〇〇日
プログラム名称	身近な水環境の全国一斉調査
主催者等(団体)	(財)河川環境財団
認定団体	(一社)全国上下水道コンサルタント協会
認定プログラム番号	AWSCJ 〇〇-〇〇
CPD内容	地域活動への参加
CPD分野	C
CPD番号	22
実時間	2.0(時間)
CPD単位	2.0(ポイント)
プログラム内容	<p>身近な河川等水環境の実態を知り、地域住民の方々に河川の水質や水辺環境に対し関心を向けて頂く契機をつくるため、参加者自らが身近な河川等へ出かけ採水して水質を測定することにより、その実態を知る。</p> <p>身近な河川(〇〇川・〇〇橋上流右岸)において、採水・測定を行い調査票の作成を行った。(調査票は、後日FAXにて水コン協へ送付)</p> <p>① 気温を測定し調査票へ記入。 ② 採水を行い水温の測定を行った後、採水のCOD値をテストキットにて判定し調査票へ記入。 ③ ②の作業を合計3回繰り返す。</p> <p>作業時間:6月2日(日)10:00~12:00(2.0時間)</p>
必要なエビデンス	・案内書、参加申込書、参加者名簿および現場の状況写真

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.23

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.24

1)CPD記録確認内容

所属会社等:〇〇コンサルタント株式会社 氏名:〇〇 〇〇

整理番号	20XX-24
年月日	年 月 日 ~ 年 月 日
プログラム名称	
主催者等 (団体)	
認定団体	
認定プログラム番号	
CPD内容	
CPD分野	
CPD番号	
実時間	
CPD単位	
プログラム内容	
必要なエビデンス	

【様式－2】

初 版 : 2009年11月 1日
第2回改訂版 : 2014年 4月 1日

エビデンス No.24

2)エビデンス

※受講証明書, 依頼書, 合格証, 氏名・発表内容記載の目次などのエビデンス資料の貼付

CPD分野

A
B
C
D

認定団体リスト

(公社)空気調和・衛生工学会
(一社)建設コンサルタンツ協会
(公社)地盤工学会、
(一社)森林・自然環境技術者教育会
(一社)全国測量設計業協会連合会、
(一社)全国上下水道コンサルタント協会
(一社)全国土木施工管理技士会連合会
(公社)土木学会、
土質・地質技術者生涯学習協議会
(一社)日本環境アセスメント協会
(公社)日本コンクリート工学会
(公社)日本技術士会、
(公社)日本建築士会連合会
(公社)日本造園学会
(公社)日本都市計画学会
(公社)農業農村工学会
建設業振興基金
交通工学研究会
その他

CPD形態 必要なエビデンス

1	・受講証明書もしくは修了証書 ・講習会、研修会の式次第もしくは案内
2	・受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・講演会、シンポジウムの式次第もしくは案内
3	・受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・現場見学会の式次第もしくは案内
4	・受講証明書もしくは参加票(参加受付票) ・発表会のプログラムもしくは案内
5	・査読論文の位置付けが分かるもの ・編集者氏名が分かる部分のページまたは、目次
6	・編集者氏名が分かる部分のページまたは、目次
7	・編集図書の一部(図書表紙・目次・当該ページ1ページ分) ・編集者氏名が分かる部分のページ
8	・社内研修会案内または次第(メール、掲示板など) ・研修会出席者名簿または、参加証明書
9	・研究開発等に従事したCPD活動を証明する所属長の認定書 ・研究開発内容がわかる概要等資料の写しもしくは主催者の案内(依頼書)
10	・講習会のプログラムもしくは発表者(講師)がわかる案内状
11	・社内研修会のプログラムもしくは発表者(講師)がわかる案内状
12	・論文査読に従事したCPD活動を証明する所属長の認定書 ・査読した論文目次等資料の写しもしくは主催者の案内(依頼書)
13	・表彰状、感謝状等受賞を証明する資料(写し)または、報道発表資料
14	・会社の表彰規定に則ることを証するもの(表彰状のコピー等)
15	・特許証写し
16	・委員会等の式次第、出席者名簿、議事録等(時間・出席者・議事内容が確認できる資料)
17	・委員会等の式次第、出席者名簿、議事録等(時間・出席者・議事内容が確認できる資料)
18	・文献や雑誌の目次
19	・登録証(合格証、認定証)の写しなど合格が確認できる資料
20	・調査計画書(調査内容、調査予定表、参加人数、参加者名等)
21	・会議議事録、参加を証明できる資料(会議資料(内容目次)等)、国際機関からの要請状または委員名簿
22	・案内書、参加申込書、参加者名簿および現場の状況写真
23	